

## 第6学年 社会科 学習指導案

### 1. 小単元名『新しい時代の幕あけ』

(教科書：『小学社会 6 上』 p. 88～104／学習指導要領：内容（1）キ，ク）

### 2. 小単元の目標

明治政府が目ざした国づくりとそれによる社会の変化について調べ、日本が欧米の文化を取り入れながら、近代的な国家を目ざして様々な改革を進めたことを理解させる。

### 3. 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
明治維新後、我が国の近代化が進められたことや、憲法が発布されたことに関心をもち、意欲的に調べようとしている。	欧米の文化を取り入れ近代化を進めたことや大日本帝国憲法の制定過程を通して、我が国が国力を高め、国際的地位の向上を目ざした意味を考え、適切に表現することができる。	肖像画や錦絵、当時の人物のエピソードなどから、黒船の来航、明治維新、文明開化などについて必要な情報を読み取ることができる。	廃藩置県や四民平等などの諸改革や、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたこと、大日本帝国憲法の制定によって我が国がアジア初の本格的な立憲政治を始めたことを理解することができる。

### 4. 指導にあたって

#### (1) 児童の実態

本学級には、歴史に興味をもち意欲的に取り組む子が多い。しかし、学習指導要領で例示されている人物や歴史的な事象を網羅的に取り上げ、調べるだけでは、子どもの歴史的な「見方や考え方」は確かなものにはなっていない。本小単元のねらいは、明治時代の様々な歴史的な事象を取り上げ、具体的に調べることを通して「我が国の国力が充実し、国際的地位が向上したこと」をわかるようにすることである。そこで本小単元の冒頭に、「何としても不平等条約を改正しなければならない」という明治政府の強い思いを、単元を貫く学習問題として設定する。そうすることで、様々な政府の諸改革をその願いと関連づけて考えることができるだろう。

#### (2) 教材について

日本が開国した際に結んだ日米和親条約が「不平等条約」であることが、本小単元で子どもの追究を促す大切な事実になる。「不平等条約を改正しなくてはならない」という明治政府の思いと、「このままでは日本が不利益を被るから何とかしなくてはならない」という子どもの思いが重なり、単元を貫く「見方や考え方」になる。さらに、この時代の欧米列強の動き、アジアの国々が植民地とされていた状況を知ることで、当時の日本の国際的地位を把握し、危機感をもって子どもは追究を

するだろう。

また、初代総理大臣となる伊藤博文を中心に学習を進めていく。岩倉使節団の一員として欧米を視察し、世界における日本の現状を知った伊藤は、様々な改革を進める。さらに伊藤は、近代国家とは議会があり、法で統治する国でなければならないという思いから、大日本帝国憲法の制定を急ぐ。明治政府発足後わずか20年ほどで憲法制定に漕ぎつけられたのは、外国をよく知る伊藤のはたらきがあったからこそであり、この憲法制定が日本の国力の充実に大きく寄与したのである。外国との違いを知った子どもは、改革を進める伊藤に思いを重ね、改革の必要性を実感する。伊藤博文という具体的人物の営みを核とすることで、子どもは知的な側面だけでなく、情的な側面からも事実を追究し、理解を深めていくことができると考えた。

### (3) 指導上の工夫・留意点

本小単元は三つのユニットから構成される。ユニット1（3時間）では、日本と欧米との技術の差に着目して学習を展開する。ユニット2（3時間）では、その技術力の差は文化や政治の仕組みの違いによったとした、明治政府の取り組みについて学習する。ユニット3（2時間）では、文化や政治の仕組みを変えたことで、もう十分欧米に追いついたと考えた子どもにビゴーの風刺画を提示する。まだ、欧米は日本を近代国家として認めていないという事実から、子どもは本時場面での伊藤博文の大日本帝国憲法制定の意味について共感的に追究していく。

単元を通して、明治政府が行った諸改革等の概念的知識と、「なんととしても不平等条約を改正して西洋に追いつかなければ」という情的な面の両方から子どもを揺さぶることで、歴史的な「見方や考え方」を確かなものにしていく。

## 5. 小単元の指導計画（総時数8時間）

時	ねらい	○学習活動 ・内容	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
① （つかむ）	時代の転換期における、町や人々の様子の変化を調べ、政治や社会の仕組みに関心をもつ。	<p>○江戸時代末期の江戸の様子から、人々や建物の様子を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・馬に乗っている。</li> <li>・着物を着ている。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>明治時代になり、町の様子はどのように変わったのだろう。</p> </div> <p>○明治時代初期の東京の様子を読み取り、どのような変化があったか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・馬車に乗っている人がいる。</li> <li>・人々の服装が変わっている。</li> </ul> <p>○新しい時代が変わっていった理由を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな変化があったのではないか。</li> </ul>	<p>◎江戸時代末期の江戸の絵図</p> <p>◎明治時代初期の東京の絵図</p> <p>◆開国前後の時代の変化について、関心をもって調べようとしている。</p> <p>（関・意・態／発言、ノート）</p>

<p>② つかむ</p>	<p>黒船来航とそれに対する幕府の対応を調べ、外国との条約が国内に与えた影響について考え、単元の学習問題をつくる。</p>	<p>○黒船来航，ペリー上陸時の様子を調べ，気づいたことを話し合う。          ・軍艦や大砲の大きさが圧倒的に違う。          ○ペリー来航の目的や幕府の対応を調べ，国内に与えた影響を考える。          ・日本は開国を迫られた。          ・条約を結び，不平等な内容だった。          ・生活が苦しくなり不満が高まった。          ・260年余り続いた江戸幕府は倒れた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>不平等な条約を改正するために，どのように国の仕組みや社会を変えていったのだろう。</p> </div>	<p>◎黒船と日本船の絵図          ◎ペリー上陸時の絵図          ◎黒船来航で動揺する江戸の絵図          ◎ペリーの似顔絵</p> <p>◆開国に至った経緯や，その際に結んだ条約が不平等なものであったことを理解し，その事実をもとに学習問題を考え，表現している。          (思・判・表／発言，ノート)</p>
<p>③ 調べる</p>	<p>明治政府が行った諸改革を調べ，政府がどのような国づくりを目ざしたのかをとらえることができるようにする。</p>	<p>○五か条の御誓文や使節団の派遣から，政府がどのような方針で国づくりを進めたかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>明治政府は，どのような国づくりを目ざしたのだろう。</p> </div> <p>・天皇を中心とした世の中。          ・外国の知識を取り入れようとした。</p>	<p>◎五か条のご誓文          ◎岩倉使節団の写真</p> <p>◆明治政府が行った諸改革について，資料から読み取っている。          (技／発言，ノート)</p>
<p>④ 調べる</p>	<p>明治政府が文明開化を進め，西洋に追いつけるような国づくりを目ざしたことが理解できるようにする。</p>	<p>○使節団から帰国した岩倉具視の変化から，明治維新が人々にどのような変化を与えたかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どうして，岩倉具視は髪形や服装を変えたのだろう。</p> </div> <p>「技術」                      「文化」          ・汽車が走る              ・法律で国を治める          ・工場の機械化              ・話し合いで決める</p> <p>・西洋の技術や文化に驚き，まずは西洋に追いつくことを考えた。</p>	<p>◎岩倉使節団の写真と，帰国後の岩倉具視の写真          ◎鉄道が走る街の絵図</p> <p>◇当時の変化について「技術」と「文化」に分けて板書に整理し，西洋に追いつこうとしたことをとらえられるようにする。          ◆明治政府が進めた文明開化の内容とその意味を理解している。          (知・理／発言，ノート)</p>

<p>⑤ (調べる)</p>	<p>明治政府が近代的な軍隊や制度をつくり、産業を盛んにして国を富ませることで、西洋に追いつけるような国づくりを目指したことが理解できるようにする。</p>	<p>○明治政府が進めた富国強兵の国づくりについて調べ、それによって政府が何を目ざしたのかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>政府は西洋に追いつくために、どのような政治を行ったのだろう。</p> </div> <p>「技術の近代化」 「政治の仕組み」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・官営工場の建設</li> <li>・地租改正</li> <li>・鉄道の開通</li> <li>・徴兵令</li> </ul> <p>・技術の近代化や政治の仕組みを整えるなど、富国強兵の政策を進め、西洋に追いつこうとした。</p>	<p>◎富岡製糸場の絵図や写真</p> <p>◇当時の国づくりについて「技術の近代化」と「政治の仕組み」に分けて板書に整理し、西洋に追いつこうとしたことをとらえられるようにする。</p> <p>◆富国強兵の国づくりが進められた目的について、外国との関係と関連づけて考えている。 (思・判・表/発言, ノート)</p>
<p>⑥ (調べる)</p>	<p>人々の暮らしや街並みの変化、自由民権運動の高まりについて調べ、西洋風の文化や考え方が取り入れられたことや、人々が新しい政治に願っていたことについて、つかむことができるようにする。</p>	<p>○西洋風の文化や考え方が、人々の暮らしや政治に与えた変化を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>近代化は、人々の生活や考え方にどのような変化を与えたのだろう。</p> </div> <p>「学問」 「生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学制の発布</li> <li>・衣食住の西洋化</li> <li>↓</li> <li>・道具の西洋化</li> </ul> <p>「政治」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由民権運動、政党の結成</li> <li>・国会を開かせる</li> </ul> <p>・生活が西洋化し、多くの人が学校に通うようになった。政治への関心も高まり、自由民権運動が活発になった。</p>	<p>◎小学校の授業風景の絵図</p> <p>◎明治時代初期の東京の絵図</p> <p>◎自由民権運動演説会の絵図</p> <p>◇近代化について、「学問」と「政治」、「生活」に分けて板書に整理する。「学問」と「政治」を関連づけて、自由民権運動の広がりごとらえられるようにする。</p> <p>◆資料から、西洋風の文化や考え方が広まり、自由民権運動が高まっていった様子について読み取っている。 (技/発言, ノート)</p>

<p>⑦ （調べる）</p>	<p>世界の勢力図や風刺画から、欧米諸国が日本をどのように見ていたかを考え、日本はまだ西洋に追いついていないことをとらえられるようにする。</p>	<p>○世界の植民地勢力図や風刺画から、日本の国際的地位について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>日本は西洋に追いついたのだろうか。外国の様子はどうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋の国々は植民地を広げている。</li> <li>・日本も植民地になってしまいそう。</li> <li>・「西洋の猿真似」だと思われている。</li> <li>・日本には憲法もないし、植民地もない。</li> <li>・世界では植民地をめぐる争いが広まっていた。</li> <li>・日本はまだ世界に認められていない。</li> </ul>	<p>◎19 世紀中頃の欧米諸国の植民地勢力図</p> <p>◎ビゴーの風刺画</p> <p>◆欧米諸国がどのように日本を見ていたかを考え、当時の日本の国際的地位について考えている。 (思・判・表／発言，ノート)</p>		
<p>⑧ （まとめる） 【本時】</p>	<p>日本が大日本帝国憲法を制定した目的を考える活動を通して、日本の国力が高まったことをとらえられるようにする。</p>	<p>○大日本帝国憲法の条文や制定過程から、伊藤が目ざした政治のあり方について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>伊藤博文はどのような目的で大日本帝国憲法をつくったのだろうか。</p> </div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>「国内を」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国を一つにまとめる</li> <li>・憲法の制定を急ぐ</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>「国外へ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植民地の支配を防ぐ</li> <li>・不平等条約を改正したい</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>○民間でつくられた憲法を調べ、人々の願いと比較して考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一刻も早く憲法をもつ国に</li> <li>・不平等条約を改正したい</li> </ul>	<p>「国内を」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国を一つにまとめる</li> <li>・憲法の制定を急ぐ</li> </ul>	<p>「国外へ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植民地の支配を防ぐ</li> <li>・不平等条約を改正したい</li> </ul>	<p>◎大日本帝国憲法発布式の様子 の絵図</p> <p>◎大日本帝国憲法の条文</p> <p>◎五日市憲法の条文</p> <p>◆大日本帝国憲法が制定された意味を、西洋に追いつき不平等条約を改正しようとしたことと関連づけて考え、表現している。 (思・判・表／発言，ノート)</p>
<p>「国内を」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国を一つにまとめる</li> <li>・憲法の制定を急ぐ</li> </ul>	<p>「国外へ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植民地の支配を防ぐ</li> <li>・不平等条約を改正したい</li> </ul>				

## 6. 本時の指導（第8時）

### (1) 本時のねらい

伊藤博文が、天皇に主権がある大日本帝国憲法を制定した目的を考える活動を通して、西洋に負けない国づくりを進めようとした伊藤博文の意図に共感するとともに、アジア初の本格的な立憲政治を始めた国となったことで、日本の国力が高まったことを理解することができる。

(2) 本時の展開

時配	○学習活動 T：発問 C：児童の反応	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
10	<p>○大日本帝国憲法について、条文や発布式の様子などを読み取り、学習問題をつくる。</p> <p>T：1889年、大日本帝国憲法が発布されました。中心となつてつくれた人は伊藤博文。どこの国をモデルにしたと思いますか。</p> <p>C：ドイツだと思う。</p> <p>C：アメリカだと思う。</p> <p>T：皇帝の権限が強いドイツの憲法を参考に作りました。条文を確認しましょう。</p> <p>C：明治天皇が、憲法を国民に与えるかたちだったんだ。どうしてそれまで、国民に公開されなかったのかな。</p> <p>T：憲法発布式の様子も見てみましょう。</p> <p>C：たくさんの方が参加しているよ。大がかりだな。</p> <p>C：中心に立っているのは、天皇ではないかな。</p>	<p>◎大日本帝国憲法発布式の様子 の絵図</p> <p>◎大日本帝国憲法の条文</p> <p>◇大日本帝国憲法についての概要を提示し、天皇の存在や外国の関与を意識させることで、伊藤博文の意図について考える学習問題をつくる。</p>
20	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>伊藤博文は、どのような目的で大日本帝国憲法をつくれたのだろう。</p> </div> <p>○学習問題について各自で考えたことをノートに書き、全体で交流する。</p> <p>T：それぞれ考えたことを発表しましょう。</p> <p>C：近代的な国の制度を整えるため。</p> <p>C：天皇の権限を強め、国を一つにまとめるため。</p> <p>C：憲法によって政治を進めるため。</p> <p>C：はっきりしたきまりを国民に示すため。</p> <p>T：憲法を制定して議会を開くには、天皇主権の体制が最もふさわしいと考えたようですね。どうしてでしょう。</p> <p>C：西洋に負けない強い国にしようとしたから。</p> <p>C：日本が植民地にならないようにしたかったから。</p> <p>C：他の国に認めてもらいたいから。</p> <p>T：植民地化されるおそれがあった時代に、アジアの他の国に先駆けて憲法を制定して、強い日本を「国外へ」アピールしようとしたんですね。</p> <p>○私擬憲法を取り上げ、大日本帝国憲法と比較する。</p> <p>T：五日市憲法はどんな憲法だといえますか。</p> <p>C：日本国民の権利について書かれている。</p> <p>C：大日本帝国憲法の主権は天皇だった。</p>	<p>◎伊藤博文の写真</p> <p>◎当時のアジアの植民地支配の状況がとらえられる世界地図</p> <p>◇子どもの意見を「国内を」と「国外へ」の二つに位置づけて、構造的に板書する。</p> <p>◎五日市憲法草案碑</p> <p>◎五日市憲法の条文</p>

	<p>T : みんなだったら、大日本帝国憲法と五日市憲法のどちらがいいですか。</p> <p>C : 五日市憲法のほうがいい。</p> <p>C : 考えたことを表現しても逮捕されないから。</p> <p>C : 国民の自由について書かれているから。</p>	
15	<p>○天皇主権の憲法にした意図をグループで話し合う。</p> <p>T : なぜ伊藤博文は天皇主権の憲法にしたのでしょうか。</p> <p>C : 自由すぎて、国内が安定しないと困るから。</p> <p>C : 天皇をトップに置くことで、外国は安心して付き合うことができると思ったから。</p> <p>C : 天皇を中心にまとまっていることを示すと不平等条約の改正につながるから。</p> <p>T : なぜもう少し時間をかけ、話し合わなかったのでしょうか。</p> <p>C : アジアの他の国が植民地にされていたから。</p> <p>C : 天皇主権の憲法で国を一つにし、外国に認めてもらおうとした。条約改正に一步近づいたのではないかな。</p>	<p>◆伊藤博文が天皇主権の大日本帝国憲法を制定した意味を考え、適切に表現している。 (思・判・表／発言、ノート)</p>

## 7. 備考

### <成果と課題>

○本時の後半では、伊藤博文の判断を五日市憲法と比較することで学びを確かなものにした。ここでは、子どもが五日市憲法のよさを理解したあと、意見交流の場を設け、天皇主権の憲法にした意味を練り合わせた。その後の「国をまとめようとした」「外国からの信頼を得ることができた」といった発言から、国家の形成という視点で憲法制定の意味について子どもが考えを深めていたことがうかがえる。

○単元学習後に行ったテストでは、これまでよりも学級の平均得点が向上した。また、使用した市販のテストに「政府が憲法をつくり国会を開いたのはなぜですか」という設問があった。模範解答は「自由民権運動をおさえることができなかつたから」とあつたが、多くの子どもが「西洋に追いつき、不平等条約を改正しようとしたから」などと解答した。江戸時代の幕藩体制から日本が世界に追いつき追い抜こうとしたこの時代の変化を、子どもは確かに理解したのである。大きなうねり、変革の時代を生き抜いた伊藤に思いを寄せ、伊藤を軸に学習を積み重ねたからこそ、知的・情的両面からの理解が深まったと考える。

●子どもは憲法制定について「国の制度を整えるため」「天皇の権限を強めるため」「不平等条約の改正のため」など、意欲をもって追究した。これは歴史的な「見方や考え方」を確かなものにするために、単元を三つのユニットで構成し学習を展開したからである。ただ、黒船が来航した時の動揺、岩倉使節団の一員として世界を肌で感じた時の決意、富国強兵政策を進めた時の思いなど、歴史的事象と伊藤博文を関連付けることができれば、伊藤の願いに一層迫ることができたと考える。